

## 山行報告書

山行管理部

### サロン&ファミリー 淀川ハゼ釣り 山行報告書

【山行日】 2021年10月2日(土)

【場所】 阪急十三駅→十三大橋下

【参加者】 13名 CL高桑, SL宇野、木村順、里、園、森下、八木、稲田理、金城、林景(+孫3人)

#### 【コース記録】

09:00 阪急十三駅— 10:00 十三大橋下 — 釣り開始  
12:00 納竿 — 昼食&天ぷら調理 — 15:00 解散

#### 【内容】

- ・十三の地名の由来の学習
- ・ハゼ釣りの実技&賞味

#### 【感想】

今年も子供の参加があつて、3年続いたことを嬉しく思う。  
そして、ガチの釣り人も加わったことと、前週に我孫と下見がてらに餌代300円で15匹の釣果だったので、千円も餌を購入。それが裏目に出たのか、大笑いの釣果1匹！ 2年続きの不漁となりましたが、ハゼには申し訳ないけど、ハゼより高級魚のアマゴの差し入れがあり、てんぷらや骨酒にして秋の訪れを味わいながら、顔を合わす機会が少ない会員間の交流を今年もできてので、お天気も心も正しく秋晴れの日でした。  
(高桑：記)

テーブル 沢山(516m) 京都北山 10月3日 CL楠本、SL吉田 参加20名

9.50 菩提道バス停—10.25 菩提滝—11.20 沢の池(昼食—11.50 出発—12.20 沢山三角点—13.00 上の水峠—14.20 鷹峰源光庵バス停着

京都駅 JRバス周山行きに乗車、ほぼ一年ぶりの公式山行の為集合場所のバス停では久しぶり！と懐かしい顔声と嬉しい挨拶にあふれていました。京都市内を走るバスの為コロナ緊急事態が明けたばかりですが、結構混み合っていました。

2班に分かれゆっくり歩行、北山杉一色の山道を行くと菩提の滝を見て、40分殆どで沢の池着。池のほとりで昼食30分で出発。左の尾根道をひたすら30分殆ど登ると沢山山頂。お天気よく皆汗ダラダラと一気に上りました。コロナ下でも皆様鍛えておられたと思います。久しぶりに登るには調度良い距離でした。下山は上の水峠から鷹峰へ お天気が良かったので比叡山、大文字山も見えました。下りは石のゴロゴロ道でしたが少しスピードアップ、程良い脚の疲れとなりました。私ごとですが一年ぶりの山行で お天気に恵まれ楽しい仲間にもまた会う事ができ、山登りの幸せをしみじみ味わう一日になりました。ありがとうございました！  
(吉田秀 記)

**土曜山行 六甲最高峰 10月9日(土)** CL 松本 SL 島袋 参加者 4名  
阪急芦屋川駅 8:30—高座の滝 9:05—風吹岩 9:50—雨ヶ峠 10:55—一軒茶屋  
12:25 六甲最高峰 13:10—有馬温泉 14:30

久しぶりに、きたろうでの公式山行で芦屋川駅にてワクワクと嬉しさもあり駅からスタート。

この日も夏の様に蒸し暑い日で高座の滝に着くまでに汗だくになりました。風吹岩では沢山の人でしたが、その先は少し少なめ。今まで花にあまり興味がありませでしたが登山道に咲く六甲の花達を鑑賞しながら「これは〇〇て名前」じっくり六甲の花を見てなかったが少しは花にも興味が。

初の六甲の山頂も行き三角点も確認、この大きさは2等かな。あとは有馬までダラダラと下り道。無事有馬温泉に着きコロッケ食べて解散致しました。

(松本光一 記)

**ウイークデイ 鳴川峠から千光寺 10月13日** CL 早川、SL 黄 参加 13名  
枚岡神社 9:30 点呼・体操～枚岡山展望台 10:05～ふれあい広場 10:35～  
なるかわ休憩所 11:10～森のレストハウス・昼食 11:50～12:20～鳴川峠  
12:50～千光寺 13:35～13:50～元山上口駅 14:55 解散

神津嶽コースは上りが続き、曇り空ながら風も無く、蒸し暑く、こまめな水分補給と休憩を心がけた。大阪府側では平日にもかかわらず何組かのハイカーと行き合ったが、峠から千光寺では人影も無く、里山は静かな実りの秋だった。

(早川 記)

**有志山行 北アルプス 槍ヶ岳西鎌尾根 9月17～20日** 参加 CL 家納、SL 高桑

**【計画の経緯】**初夏に剣岳・長次郎谷を計画するも天候不良で中止した流れで、ソロテント泊で槍へ計画。しかし、台風14号の進路しだいでは今回も危ぶまれたが、一日目の雨は覚悟で2日目以降の好天予測の読みと、風雨のテント泊への不安は小屋泊のキャンセルがでる読みも当たり、小屋泊に変更して実施する。

**【コース記録】**17日 JR 大坂城公園駅 (22:00) -新穂高温泉P (03:00)

18日 新穂高温泉(06:30)-笠新道登山口 (07:30) -わさび平小屋(07:50)-秩父沢出(9:10) -鏡平山荘(11:30)-弓折乗越し(13:15)-双六小屋(14:40)

19日 双六小屋(05:30)-硫黄乗越し(07:00)-千丈沢乗越し (08:50) -槍ヶ岳山荘(10:10) - 中岳(13:30)-天狗池分岐(14:40)-南岳(15:00)-南岳小屋(15:10)

20日 南岳小屋(06:20)-南岳新道-槍平小屋(09:40)-白出小屋(11:30)-新穂高温泉(13:40) -平湯の森(15:30)-京都近鉄武田駅(20:00)

【行動記録値】 行動時間(休憩含) 8:33+10:09+7:20=26 時間 02 分

行動距離 13.4+9.4+12.1=34.9 km

累積標高 上り 1723-下り 221+1308-880+135-2059=3166-3160m

【所感】 18 日は雨も一時は止み、早く回復かと喜ぶもしっかりと双六小屋までしとしと降り続く。19 日は青空の中で槍へと歩く。

西鎌尾根からは槍穂高連峰の全貌が良く判る。又向って左端に槍がある構図も新鮮に感じる。一般的な写真は常念や蝶からのように右端に槍があるので。



槍には 10 時半ころに着き、山頂へはまばらで、頂上で長居が出来るほどでした。ソロで北鎌からの人もあった。槍小屋のテラスで双六小屋の豪華な朝弁当を昼食に 12 時頃に出発する頃には頂上へは行列になっていた。

南岳小屋着には 15 時を少し過ぎていた。夕食時には大きな地震の揺れが断続的に何度も有り、絶叫マシン程ではないが悲鳴があがる。

20 日は予定の南岳新道が崩落の小屋情報も有り行動予定を相談する。スリング全長 15m あること、各 1ℓ の水の補給、小屋に戻ったときの連泊可能を確認して、行けるところまで下山して、無理なら引き返す覚悟で下る。

途中で登ってくる人と情報交換して、安心して新穂高温泉 P に着く。しかし、槍平からの道は気が滅入るくらい長い。帰りの道中も全く渋滞もなかったが、ひるがの高原 SA はいつもの満車の案内があった。(高桑：記)

有志山行 三峰山 10 月 17 日 CL 児玉、参加 8 名  
神通バス停 9:30~登山口 9:40~三峰山頂上(昼食) 12:15~12:45~城ヶ峰  
13:20~梵天山分岐 13:55~ササ峠 14:50~稲倉池南端 15:50~水飲み地藏バス停 16:20~JR 日根野駅 16:50

神通登山口が判らなく探した挙句は草や枝に隠れたところがありました。これからが大変です。先に登った方のテープはありますが、不明瞭で地図や、GPS で確認しつつ、急登もいいところで、枝を掴み足を踏ん張り何回も何回も滑るのをこらえつつ、休み、休みブッシュの中、三峰山頂まで登りました。尾根から上は木枯らしかと思う強風ですが山頂は景色が良くなく雑木林の山頂で風避けには大助かりです。山頂で郁子(むべ)が取り放題のごとく木に鈴なりで、最初は美しい色をした実としか認識していませんでしたがアケビの同類だと一人が調べてくださり、割って食べるとアケビの果肉と一緒にとても珍味でした。昼食のひと時急登の疲れを話題にゆっくりと時間を過ごしました。城ヶ峰まで急坂下りですが、急

登を経験しただけに嘘みたいに下り道を満喫、ササ峠を越え水飲み地蔵迄ぬかるみ下山道を、泥だらけになりながら到着しました。

バスが2時間待ちなので、地蔵さんの社務所で話をしましたらタクシーを呼んであげようと言ってくださり、10分ぐらいできました。助かった。疲れと充実感で美味しいお酒もいただきました。参加者全員のご協力でケガも無く下山できました事、お詫びと感謝をしています。

(児玉 記)